



JERAからの購入電力料について

2023年 4月11日

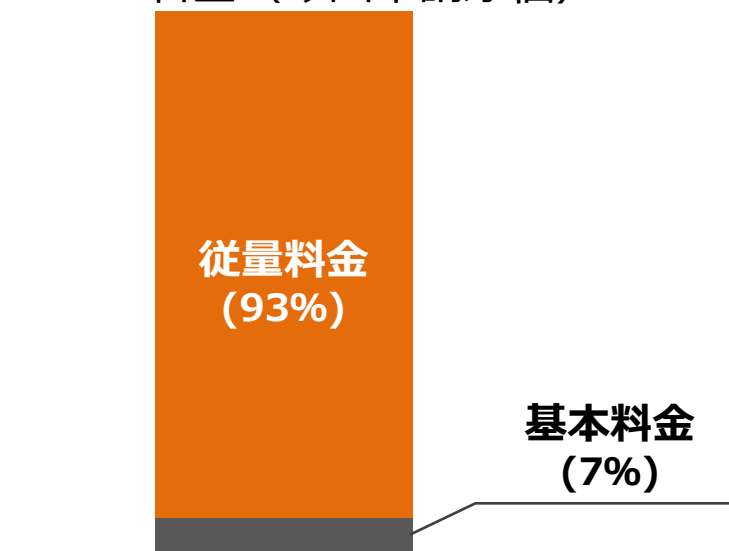
東京電力エナジーパートナー株式会社

- 東京電力一体会社時代の「自社火力」発電所については、2016年度の発販分社化時、当社とJERAとの間で電力購入契約（PPA）を締結しております。
 ※新規のリブレース電源については、別途JERAによる公募等により一部を長期PPAとして締結。
 ※JERAが公表した2023年度向けの卸標準メニューについては応札するも落選。
- JERAとの間では、年度ごとに小売競争の激化や戻り需要の増加、卸電力取引所取引の拡大等、内外の諸情勢を踏まえた協議を行い、他の発電事業者と同様、PPAにおいて料金その他の供給条件を規定しております。
- 発販を分離した当社は、他社との競争を勝ち抜き事業運営を継続していく上で、電源調達コストの低減が命題となっており、JERAをはじめとした発電事業者との契約協議を通じてその実現を目指しております。
- 今回の申請原価においても、従来のコスト積み上げではなく、自由化部門も含め小売競争を意識した、これまでの協議の成果を踏まえたPPA料金の想定値を計上しております。

● JERAとのPPA 概要

契約	内容（契約期間等）
電力取引基本契約 電力受給設備契約 （総称して“基本契約”）	2016～2025年度（10年間） の長期契約を締結
電力受給覚書	基本契約に則り、単年度ごとに締結
料金体系	基本料金、従量料金の二部料金制 燃料費調整あり

● PPA料金（今回申請原価）



2.JERAからの購入電力料の水準について

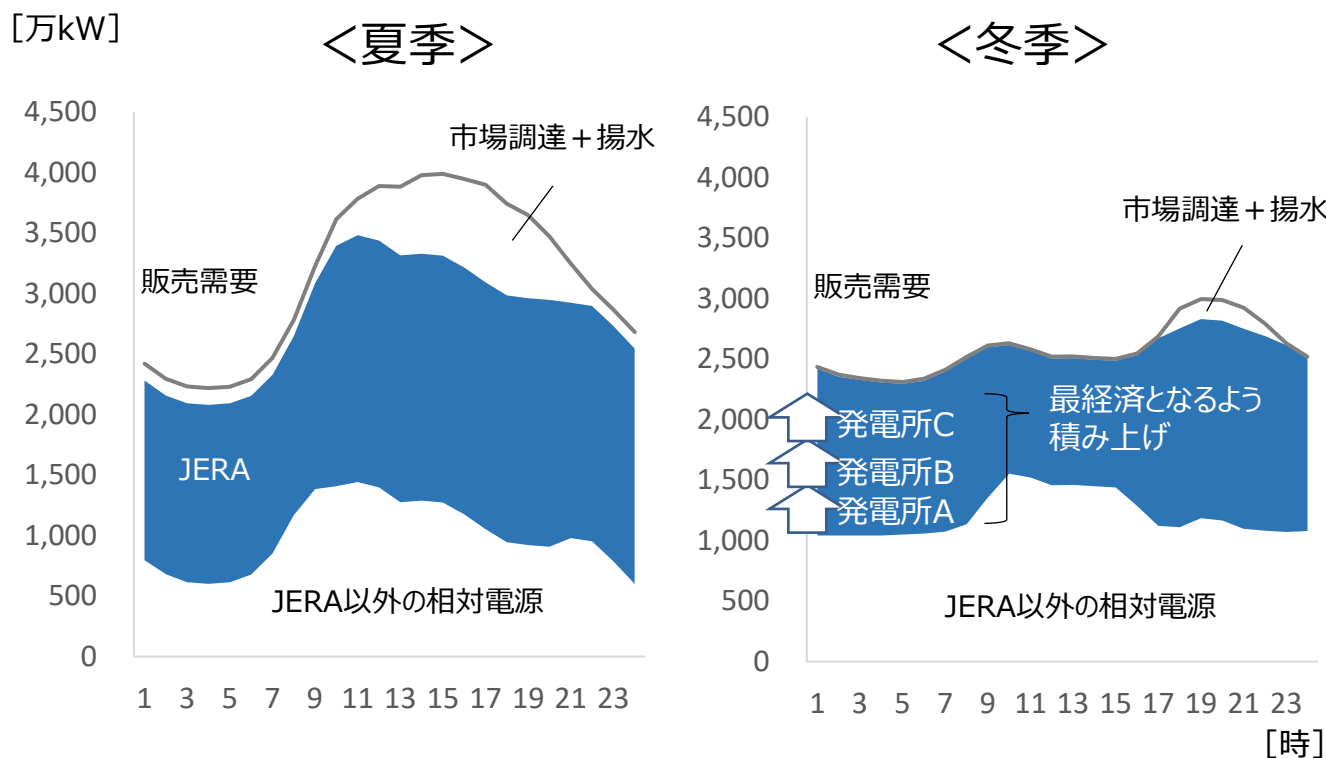
2

- 今回の原価の前提となる調達電力量については、JERAにおいてメリットオーダーの考え方に基づき最経済となる発電機の組み合わせとするよう要請し、計画しております。
- 料金算定上の燃料価格については、LNG、石炭それぞれ全日本通関統計価格と同等の水準で設定しております。
- これまでのJERAとの協議内容を反映した結果、JERAからの基本料金を含めた購入電力料の水準については、市場価格(※)を下回る水準で原価に反映しております。

※燃料価格見直し後のコマ別市場価格をJERAからのコマ別調達電力量で加重平均した値。

● JERAからの調達量に関する受給イメージ

● 調達計画策定の流れ



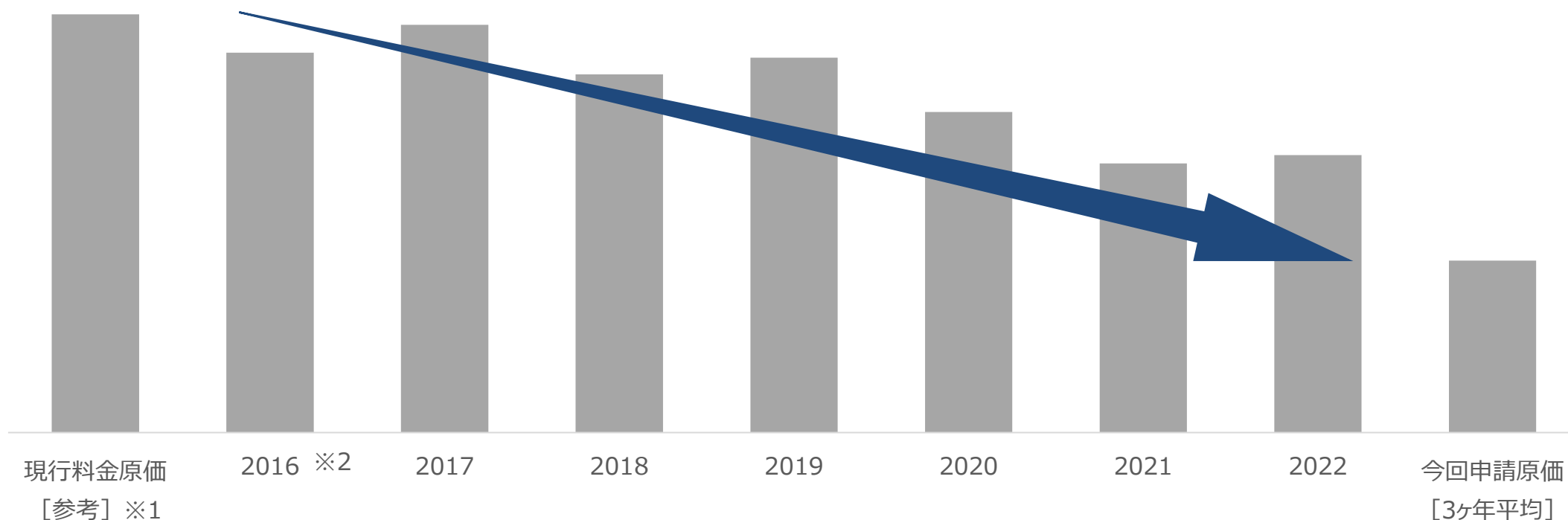
- 当社が想定する電力需要のうち、PPAに基づきJERAへ要求する量をJERAへ通知

- JERAにおいて最経済となる発電機を組み合わせ発電所の稼働計画を策定
- これに基づき、PPAの従量料金に反映される燃料費を策定

- 当社でも経済性を損なう稼働計画となっていないか確認、協議の上決定

- JERAとのPPAにおける基本料金については、年度ごとに協議を実施のうえ、設定しております。
- PPAを締結した2016年度以降、需要規模に応じた契約規模の適正化に加え、価格協議を通じて、JERAによる競争調達比率拡大等の資材調達方法の工夫や、運転・保守における新手法採用の成果等を基本料金に反映し、金額は低減方向となっております。現行料金原価（2012年料金改定）における自社火力固定費に対しても、大幅に低減しております。

● JERA PPA基本料金の推移



※1 2012年料金改定原価における自社火力固定費

※2 2016～2022年度は契約値ベース